

(様式)

伊達市パブリック・コメント制度実施結果報告書

作成日: 令和6年2月13日

案件名	健康だて21(第3次)・食育推進計画(第2次) (案)		
公表日	令和6年1月26日		
募集期間	令和6年1月26日～令和6年2月12日		
担当部・課名	健康福祉部健康推進課		
実施結果	提出方法	提出者数	意見数
	持参	0	0
	郵便	0	0
	ファクシミリ	0	0
	電子メール	2	6

■ 提出された意見とそれに対する市の考え方

No.	項目等	提出された意見等の概要	市の考え方	計画等への対応
1	全体	高齢者や低所得者に対するアプローチが課題。これを解決するためには、個人だけでなく、行政と地域との連携に加え、学校や各種団体を巻き込むことが重要。計画には「市民の取り組み」のほか、「地域・関係機関の取り組み」が明記されているので、計画どおりに連携、実行されることを期待している。	本計画が目指す姿「生涯健幸でいきいき暮らせる元気なまち」の実現にあたっては、市民一人ひとりの取り組みへの支援を基本としつつ、家庭や地域が役割を担い、健康づくりに向けて一体となって取り組んでいくことが必要なため、それぞれの健康課題へ主体的に取り組むことへの支援を継続します。	現案のとおりとします。
2	健(検)診 P13～15	特定健診の受診率が低い。がん検診の受診率向上も併せ、何らかの施策が必要。	本計画の「第4章 分野別施策の展開」における「第7節 健(検)診」にある市の取り組みを推進していきます。	現案のとおりとします。
3	健(検)診 P13～15、36	健診の受診状況「毎年受けている」が約8割を占めている。アンケート回答者に勤め人の割合が多いからか。	アンケート調査の結果、「毎年受けている」と回答した割合が最も高かったのが公務員と会社員でした。また、年齢層では40歳から64歳の層の受診率が高い傾向であり、ご指摘のとおり有職者の受診率が高い結果となっております。	現案のとおりとします。
4	後期高齢者医療 P20	「入院日数を減らす取り組みが重要」とあるが、医師の判断や医療機関側も早期退院を目指している現状に左右される部分がある。	本市における高齢者一人あたりの医療費について、入院に要する費用が突出している状況を鑑み、ご指摘を踏まえ文章を修正します。	「入院日数を減らす取り組みが重要です。」を「入院費用が後期高齢者医療費に大きく影響しています。」に修正します。
5	後期高齢者医療 P20	後期高齢者「一人あたり医療費の推移」について、平成28年度と令和4年度の比較で2.6%の減であるが、グラフは半減しているように見える。	ご指摘のとおり、グラフを修正します。	グラフの縦軸の最小値を0円とします。
6	特定保健指導 P21	特定保健指導対象者の指導実施率、要再検査対象者の受診率を把握しているか。	ご指摘の特定保健指導実施率、要再検査受診率については、把握し事業を進めており、早期発見や予防につながるよう支援しています。	現案のとおりとします。